

講義名称	日本の伝統文化	担当教員名	高山 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	芸術 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM154

授業のキーワード	祭礼、芸能、衣食住
授業の概要	衣食住に関わる文化の諸相と、能・歌舞伎などの伝統芸能を取り上げ、日本文化の特性について考えていきます。
期待される学習成果 (目標)	1、日本文化を客観的にみることで、文化の多様性について理解が深まります。 2、古典芸能に触れ、視野を広げることができます。 3、四年制大学編入も見据え、基礎的な知識を身につけることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	はじめに	授業の進め方について説明します。
2	風土と衣食住	日本文化を育んだ風土の特色について学びます。「日本食」の定着について取り上げます。
3	衣食住①	日本人の食生活に関連し、米の生産の経緯と食文化への影響について学びます。
4	衣食住②	日本人の衣文化に関連し、着物の成立経緯や特質について学びます。
5	衣食住③	日本人の住文化に関連し、入浴文化の変遷を中心に学びます。
6	伝統行事①	「春日若宮おん祭り」を題材に、伝統的な祭礼の構成について学びます。
7	伝統行事②	伝統的な年中行事の意味や歴史的変遷について学びます。
8	中間のまとめ	前講までの学びを総括します。
9	伝統芸能①	能の発展の経緯とその特質について学びます。
10	伝統芸能②	能の特質について学びます。
11	伝統芸能③	能と狂言の関係性について学びます。
12	伝統芸能④	歌舞伎の発展の経緯について学びます。能との関係性にも触れます。
13	伝統芸能⑤	歌舞伎の特質について学びます。
14	芸能⑤	歌舞伎と人形浄瑠璃 (文楽) の関係性について学びます。
15	まとめ	全体の学びを総括します。

定期試験	ペーパー試験を実施します。
授業時間外学習	第1～5講：小課題を出し調べてもらいます (60分)。第6～10講：ノートを見直し、復習します (60分)。第11～15講：授業中にわからなかった語句の意味を調べ、確認します (60分)。
評価方法	授業への取り組み (20パーセント)、試験 (80%) により総合的に評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じて資料を配布します。
参考文献	宮崎正勝『知っておきたい「食」の日本史』角川ソフィア文庫 安田次郎『祭礼で読み解く歴史と社会：春日若宮おん祭りの900年』山川出版社